

2017年度 学校法人大和学園 京都調理師専門学校 学校関係者評価者委員会 議 事 録

1. 日 時 2017年9月25日(月) 14時00分～15時00分
2. 場 所 京都調理師専門学校 会議室
3. 出席者 ①企業などの役員又は職員
 委 員 田村 圭吾 様 (京都料理芽生会会長、京料理萬重 若主人)
 委 員 吉田 泰宏 様 (大阪マリOTT都ホテル 総料理長)
 委 員 赤松 佐知子様 (株式会社グラマラスフード 代表取締役)
- ②卒業生
 委 員 下口 英樹 様 (平等院表参道 竹林 主人、90年調理師科卒業生)
- ③学校運営や教育に関する有識者
 委員長 影山 弘典 様 (学校法人 大和学園 評議員)
- ④委員会事務局
 仲田 雅博 (京都調理師専門学校 校長)
 田中 幹人 (京都調理師専門学校 校長代行)
 作岡 友樹 (京都調理師専門学校 教務部長)
 小西 七海 (京都調理師専門学校 教務部)

4. 議 事 1. 2016年度自己評価結果について
 (1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動
 (4) 学修成果 (5) 学生支援 (6) 教育環境
 (7) 学生の受入募集 (8) 財務 (9) 法令等の遵守
 (10) 社会貢献・地域貢献 (11) 国際交流
 ⇒2016年度自己評価結果の学校関係者による評価について
2. 学校運営への提言について

5. 議事の経過及び結果

進行	内容
■開会挨拶	<事務局：仲田校長より> お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。現場の先生方にお話をお聞きし、職業教育の水準を高めることにつなげていきたいと思っております。率直なご意見をお願いいたします。
■委員紹介	<事務局：作岡より> 本委員会の委員紹介、及び事務局より、田中幹人校長代行から挨拶があった。
■委員長選出	<事務局：作岡より> 規定により、互選にて委員長を選出する旨説明。「学校法人大和学園 評議員 影山弘典 氏」が選出され満場一致にて承認された。 ◆委員長：学校法人大和学園 評議員 影山弘典 氏 就任 <進行：影山弘典委員長(学校法人大和学園 評議員)>

■議題

1. 2016 年度自己評価結果について

- ・学校の教育目標
- ・本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動

事務局 作岡より 2016 年度自己評価について説明がなされた。その後、各評価項目ごとの結果及び課題、今後の改善方策について説明がなされた。

作岡より資料に基づき説明

各委員より

田村委員より

就職や研修を通じて、生徒の能力差はあると感じるが、学校の中でしっかりと技術を教えていただいていることが伺える。実習など、技術面だけではなく、昨今重要視されている衛生面について、具体的事例を挙げて理解させるなど、より重点的に教えることを検討してほしい。

下口委員より

(質問): ワインとスピリッツの授業は、学生が未成年ということもあり、飲めないと思うが、どのような授業が行われているのか。

(回答): 実際学生は飲酒できないが、香りのサンプルを使用したり、嗅覚を使った授業も行っている。今後は卒業後の教育として、ワインとスピリッツなどを学べる機会を作ることを検討したい。

吉田委員より

ハラルフードについての知識や理解を持つことは大切だと思うので、授業にも取り入れていただきたい。

赤松委員より

積極的な学生が増えていると感じる。背景として教員と学生の距離が近いからではないかと思う。

(質問): フランス料理上級科とイタリア料理上級科について、双方とも人參のジュリエヌを卒業後の到達度に行っているのはなぜか。

(回答): 西洋料理という科目名で実習をしていることと、技術の習得度が把握しやすいという理由があり、2 学科共通で人參のジュリエヌにしていた。来年度は、変更する方向で話を進めている。

■各委員よりいただいた意見を今後の取り組みの参考にさせていただく

作岡より資料に基づき説明

各委員より

田村委員より

(質問): *Pride of Culinary Art* については、カードを配る以外に、学生が復唱、唱和する機会はあるのか。

(回答): カード以外に、教室に掲示しているが、復唱などはしていない。⇒週に 1 度でも復唱する機会を作る、筆記試験を行うなど、身につけるための実践をするべきである。

吉田委員より

学生が *Pride of Culinary Art* のカードを携帯しているか、内容を実践できているのかを定期的に確認することが大切だと思う。

- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受入募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

(質問)：教職員の海外研修の場所はどこか。また、それにより教職員に変化はあったか。

(回答)：フランスの調理師学校や現地の星付きレストランなどに研修実績がある。研修を経験した教職員は、現地の風土に触れることで、考え方にも変化があったと感じる。

赤松委員より

弊社では、社員勉強会を月に1回実施している。また、アルバイトや社員が分け隔てなく意見を出せる、改善メモを用意しており、新しいアイデアを受け入れている。改善案については年に2回最優秀賞を出している。

下口委員より

教育活動について、1800時間という密な授業が行われており、素晴らしいと思う。

(質問)：学外実習の期間について知りたい。

(回答)：ここ数年は、約2週間で、実働10日間である。今後もこの期間のまま継続する予定である。

■各委員よりいただいた意見を今後の取り組みの参考にさせていただく

作岡より資料に基づき説明

各委員より

下口委員より

(質問)：退学者について、金銭的な問題で退学する者が多いのか。

(回答)：金銭的な問題で退学する者と、欠席が多くなり、留年せずに退学を選ぶ者などがある。

⇒良い生徒を育て上げることが大切。来年度もぜひ退学率5%にとどめていただきたい。

赤松委員より

(質問)：退学率はなぜ5%以下を目標にしているのか。

(回答)：他の学校との比較や、ここ数年の本校退学率を考え、5%目標としている。

吉田委員より

就職率100%は素晴らしいが、離職率が高い業界のため、就職後3か月後の状況など、卒業生の離職率について調べることも大切であると思う。

(質問)：退学者はどのタイミングで退学しているのか。

(回答)：学費の納期が切れる時期で退学する学生が多い。

田村委員より

(質問)：退学者のケアはしているか。

(回答)：現在はしていない。

⇒家庭の事情で退学する学生などには、就職(アルバイトでも)を斡旋するなど、ケアをしてはどうか。学校の良い評価にもつながると思う。

■各委員よりいただいた意見を今後の取り組みの参考にさせていただく

2. 学校運営への提言について

各委員より

田村委員より

細かい項目で自己評価をされており、今後の新しい教育システムに活かしていただきたい。今後も協力できることがあれば、ぜひ協力させていただきたい。

吉田委員より

衛生などについては、重点的に指導を行ってほしい。

赤松委員より

たくさん意見をさせていただき、ありがとうございました。

下口委員より

新キャンパスに移転してからも高い評価が得られるよう、協力させていただきたい。

■各委員よりいただいた意見を今後の取り組みの参考にさせていただく

■閉会挨拶

<事務局：仲田より>

貴重なご意見ありがとうございました。いただいたご意見を教育内容に反映してまいります。引き続き、教育課程編成委員会もよろしく願いいたします。